

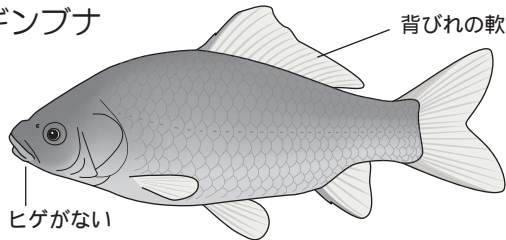
ギンブナ *Carassius auratus langsdorfi*

キンブナ *Carassius auratus* subsp.2

環境省レッドリスト：カテゴリなし

環境省レッドリスト：準絶滅危惧

ギンブナ



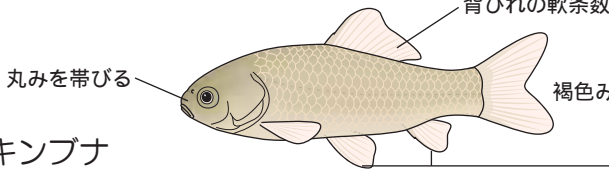
背びれの軟条数が16~19

ヒゲがない

全長：約15~30cm

ギンブナは体高が高く
キンブナは体高が低い

キンブナ



丸みを帯びる

背びれの軟条数が12~13

褐色みを帯びる

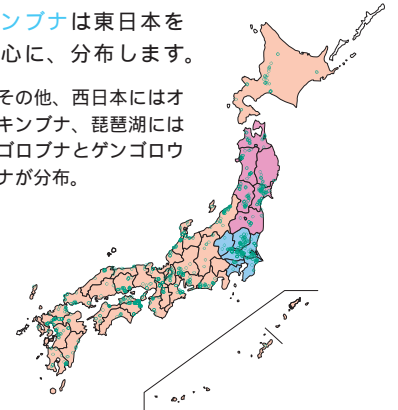
全長：約10~16cm

分布

●：「田んぼの生きもの調査」での確認箇所

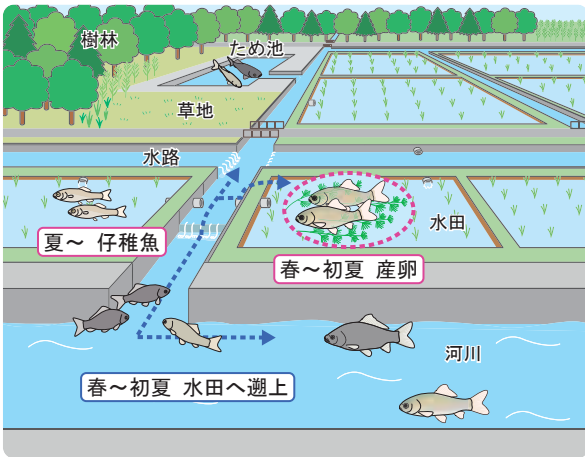
ギンブナは全国に、
キンブナは東日本を
中心に、分布します。

その他、西日本にはオ
オキンブナ、琵琶湖には
ニゴロブナとゲンゴロウ
ブナが分布。



生態

----- : 本来の移動経路 ○ : 生息環境



主な産卵環境と生息環境

↔ : 主な生息環境

樹林・草地	ため池	水田	水路	河川	海
		産卵			

生活史

池や河川の淵など緩流域に生息します。水草・抽水植物のある浅所が産卵環境となり、主に春から初夏、水田に遡上して産卵します。水田で育った稚魚は、落水時に水路や常時湛水域に移動します。

写真



ギンブナ



キンブナ

ギンブナやキンブナなどがいますが分類は難しく、中間的な特徴のものも多くみられます。



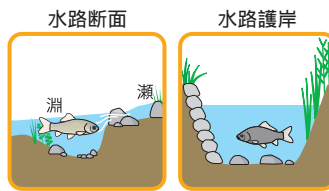
ゲンゴロウブナ

琵琶湖原産のゲンゴロウブナは、ヘラブナとも呼ばれ、全国に放流されています。

配慮対策

生息環境の確保 淵、緩流域、抽水植物・水草の創出

環境配慮型水路の対象工法



【水路断面】	
瀬・淵	p.69
ワンド	p.70
乱杭工・置石工	p.71
敷石、砂、砂利、玉石、植生	p.72

保全池・ビオトープの対象工法



【水路護岸】	
土水路	p.73
かご系	p.74
木系	p.75
自然石系	p.76
二次製品系	p.77
複合系（井桁護岸）	p.78

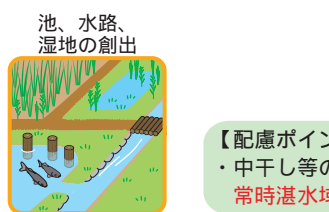
【池護岸】	
自然石系	p.85
複合系	p.86
（捨石等による緩傾斜護岸）	
かご系	p.87
木系	p.88
二次製品系	p.89

【配慮ポイント】

・産卵環境となる水草・抽水植物の生育が可能で、生息環境となる淵と緩流域を形成する工夫が必要です。

常時湛水域の創出

保全池・ビオトープの対象工法



【池、水路、湿地の創出】	
保全池	p.90
承水路	p.91
耕作放棄地等のビオトープ化	p.92

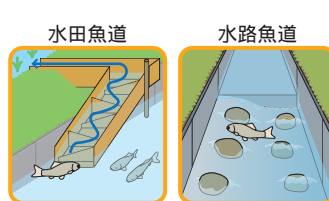
【配慮ポイント】

・中干し等の落水時において退避場所となる常時湛水域を形成する工夫が必要です。

移動経路の確保

水田と水路間の落差の解消、水路内の落差の解消

魚道の対象工法



【水田魚道】	
隔壁型（千鳥X型）	p.57
隔壁型（ハココン型）	p.58
排水路堰上げ式	p.59

【水路魚道】	
階段型	p.61
隔壁型（千鳥X型）	p.62
隔壁型（ハココン型）	p.63
片斜面粗石付魚道	p.64

【配慮ポイント】

・水路を経由して水田に遡上するため、水路魚道・水田魚道を設置します。体高があり、水深を確保することが必要です。